

2023 年度 秋季

神戸松蔭女子学院大学 大学院文学研究科 修士課程

心理学専攻

入学試験問題

# 専門科目

## 注意

- (1) 問題用紙は、本表紙+2 ページ、合計 3 枚あることを確かめること。
- (2) 5 枚の解答用紙それぞれに、自分の受験番号と氏名を記入すること。
- (3) 問題用紙の余白を下書きに使用してもよい。

以下の問 1 と問 2 を回答すること。

問 1 A 群(1)～(4)から 1 問, B 群(5)～(8)から 2 問を選び, 解答しなさい。

A 群

- (1) 児童期はメタ認知が獲得される時期であるが、経験によってメタ認知は影響を受ける。具体例を用いて経験とメタ認知の関係について述べなさい。
- (2) プライミングとプライマーを定義したうえで、間接プライミングと直接プライミングについて具体例を用いて述べなさい。
- (3) 心理学の研究成果を社会に発信する際、心理学研究者が考慮すべき点について述べなさい。
- (4) 心理学において認知革命が起こった歴史的経緯と、それによる心理学研究への功罪について述べなさい。

B 群

- (5) 家族合同面接、親子並行面接のメリットとデメリットについて、それぞれ述べなさい。
- (6) 神経症的防衛機制と原始的防衛機制の違いについて、両者を対比させながら述べなさい。
- (7) 心理学的支援における被支援者と支援者の間の適切なコミュニケーションのあり方について複数の観点を示して述べなさい。
- (8) いじめに対する認識はどのように移り変わってきたと思いますか。下記の 2 つの定義を比較して述べなさい。また、それをふまえた上で、いじめに対する心理的支援にとって大切だと思うことについて述べなさい。

1986 年（文部省）の定義

「いじめ」とは、「自分より弱い者に対して一方的に、身体的・心理的な攻撃を継続的に加え、相手が深刻な苦痛を感じているものであって、学校としてその事実を確認しているもの」とする。

2013 年（いじめ防止対策推進法）の定義

「いじめ」とは、「児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係のある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの」とする。

問 2 A 群(1)～(6)から 3 問, B 群(7)～(12)を全て選び, それぞれについて説明しなさい。

A 群 (1) 学習における高原現象

(2) 変数の交絡

(3) 発達の変塑性

(4) タイプ A 行動パターン

(5) 特性論と類型論

(6) 多元的無知

- B群** (7) 勤勉性 対 劣等感
- (8) 多職種連携
- (9) 包括的システム (ロールシャッハ・テスト)
- (10) 死別への対処の二重過程モデル
- (11) スクイグル法
- (12) 生物・心理・社会モデル

2023 年度 秋季 神戸松蔭女子学院大学 大学院文学研究科  
修士課程 心理学専攻 専門科目 解答用紙 (1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問 1 : (       ) 群 問題番号 (       )

[※解答した問題の「群」と「問題番号」を、上のカッコ内に記入すること]

2023 年度 秋季 神戸松蔭女子学院大学 大学院文学研究科  
修士課程 心理学専攻 専門科目 解答用紙 (2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問 1 : (        ) 群 問題番号 (        )

[※解答した問題の「群」と「問題番号」を、上のカッコ内に記入すること]

2023 年度 秋季 神戸松蔭女子学院大学 大学院文学研究科  
修士課程 心理学専攻 専門科目 解答用紙 (3)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問 1 : (       ) 群 問題番号 (       )

[※解答した問題の「群」と「問題番号」を、上のカッコ内に記入すること]

2023 年度 秋季 神戸松蔭女子学院大学 大学院文学研究科  
修士課程 心理学専攻 専門科目 解答用紙 (4)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問 2 : A 群

(1) 学習における高原現象

(2) 変数の交絡

(3) 発達の可塑性

(4) タイプ A 行動パターン

(5) 特性論と類型論

(6) 多元的無知

2023 年度 秋季 神戸松蔭女子学院大学 大学院文学研究科  
修士課程 心理学専攻 専門科目 解答用紙 (5)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問 2 : B 群

(7) 勤勉性 対 劣等感

(8) 多職種連携

(9) 包括的システム (ロールシャッハ・テスト)

(10) 死別への対処の二重過程モデル

(11) スクイグル法

(12) 生物・心理・社会モデル